

特集 保活最新事情2020 ～希望の保育所に入所するための秘訣とは

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、4月から保育所に入所し、ならし保育をスタートしたものの、緊急事態宣言後は医療従事者などの子どもしか預かってくれない保育園もあり、育児休業からの復帰を延長している方もいらっしゃいます。

さて、今年の保活ですが、1次選考の落選率が前年より悪化した自治体が約4割とのデータもあり、依然厳しい状況が続いています。マザーネットでは、保活コンシェルジュサービスを開始し、7回目の春を迎えました。希望の保育所に入所できた方の声などから、保活最新事情をお伝えしたいと思います。

1. 保育所入所の現状 ～認可保育施設 1次選考の落選率

●昨年4月時点で100人以上の待機児童がいた自治体の場合(朝日新聞調査による)

<2019年>

	落選率	申込者数	内定者数
1 福岡県筑紫野市	45.3	537	294
2 沖縄県南風原町	44.5	604	335
3 福岡県大野城市	38.8	613	375
4 神奈川県藤沢市	38.5	2,654	1,632
5 沖縄県西原町	38.4	487	300
6 福島市	37.2	1,143	718
7 東京都国分寺市	35.0	1,009	656
8 兵庫県尼崎市	34.5	2,105	1,378
9 千葉県市川市	33.9	3,188	2,107
10 千葉県習志野市	32.9	947	635
11 兵庫県宝塚市	32.6	1,203	811
12 東京都三鷹市	31.4	1,202	824
13 兵庫県姫路市	31.4	2,869	1,967
14 東京都調布市	30.5	1,703	1,184
15 兵庫県西宮市	29.9	2,665	1,867

16 東京都西東京市	29.4	1,362	964
17 鹿児島市	29.2	3,560	2,522
18 千葉県浦安市	28.7	1,150	820
19 岡山県倉敷市	27.4	2,941	2,135
20 東京都府中市	26.3	1,569	1,156
21 千葉県印西市	24.7	733	552
22 茨城県つくば市	22.4	1,685	1,308
23 沖縄県沖縄市	21.6	1,576	1,236
24 東京都日野市	21.1	1,177	929
25 千葉県八千代市	20.5	971	772
26 東京都町田市	19.9	1,967	1,576
27 広島県東広島市	19.8	796	638
28 那覇市	17.4	3,017	2,492
29 埼玉県朝霞市	16.0	1,051	883
30 沖縄県南城市	13.9	2,119	1,825
31 沖縄県うるま市	11.6	4,829	4,269

※昨年4月の待機児童数が100人以上いた自治体に調査。兵庫県明石市は回答せず。神奈川県藤沢市、鹿児島市は転園を含めて回答。西東京市は集計中で結果発送時点。



<2020年>

	落選率	申込者数	内定者数	前年比較
1 兵庫県宝塚市	44.5	1601	889	↗
2 沖縄県南城市	41.3	622	365	↗
3 兵庫県尼崎市	40.8	2247	1331	↗
4 福岡県大野城市	40.5	600	357	↗
5 沖縄県南風原町	38.5	742	456	↘
6 東京都三鷹市	38.3	1368	844	↗
7 東京都小金井市	36.6	991	628	
8 兵庫県西宮市	36.1	2840	1814	↗
9 鹿児島市	33.9	3619	2393	↗
10 東京都調布市	32.9	1820	1222	↗

11 東京都国分寺市	31.9	1011	688	↘
12 兵庫県姫路市	31.8	2978	2031	↗
13 福岡県福津市	31.4	513	352	
14 岡山県倉敷市	29.7	3201	2249	↗
15 埼玉県三郷市	28.4	864	619	
16 東京都町田市	22.6	2002	1550	↗
17 那覇市	22.4	2380	1848	↗
18 東京都府中市	20.9	1456	1151	↘
19 茨城県つくば市	17.8	1684	1385	↘

※千葉県市川市、浦安市、東京都西東京市、神奈川県藤沢市、兵庫県明石市、香川県丸亀市、福岡県筑紫野市、沖縄市は回答せず。大阪府東大阪市は0歳児の落選者数を回答せず。東京都調布市、鹿児島市は転園希望者含む。東京都三鷹市は転園希望者を含み、5歳児の1次選考は実施していない。

●東京23区と政令指定市の場合

<2018年>

東京23区		前年比較	政令20市		前年比較
1 千代田区	44.6	↗	1 岡山市	36.9	↗
2 港区	43.0	↗	2 川崎市	35.1	↗
3 江東区	41.3	→	3 札幌市	34.1	
4 目黒区	40.5	↘	4 さいたま市	29.9	↘
5 中央区	39.8	↘	5 北九州市	29.8	↘
6 文京区	36.5	↘	6 神戸市	28.4	↗
7 世田谷区	36.0	↘	7 堺市	26.3	↗
8 大田区	32.9	↘	8 浜松市	26.2	↘
9 渋谷区	32.9	↘	9 大阪市	25.3	↗
10 墨田区	31.2	↘	10 横浜市	24.4	↘
11 練馬区	30.3		11 福岡市	23.4	↘
12 江戸川区	30.2	↘	12 熊本市	22.3	↘
13 杉並区	29.3	↘	13 仙台市	22.1	↘
14 足立区	27.2	↘	14 相模原市	19.9	↘
15 板橋区	25.5	↘	15 千葉市	16.0	↘
16 新宿区	24.4	↗	16 静岡市	13.1	↘
17 品川区	24.1	↘	17 京都市	10.5	↘
18 葛飾区	21.6	↗	18 名古屋市	10.4	↗
19 荒川区	21.5	↘	19 新潟市	6.9	↗
20 豊島区	16.9	↘	20 広島市	回答なし	
21 北区	16.5	↘			
22 台東区	回答なし				
23 中野区	回答なし				

<調査概要>
実施:朝日新聞
時期:2018年3月

<2019年>

東京23区		前年比較	政令20市		前年比較
1 港区	52.2	↗	1 岡山市	34.2	↘
2 世田谷区	40.2	↗	2 札幌市	33.6	↘
3 台東区	40.0	↗	3 川崎市	32.4	↘
4 中央区	39.9	↗	4 さいたま市	31.9	↗
5 江戸川区	37.5	↗	5 神戸市	30.2	↗
6 渋谷区	34.6	↗	6 熊本市	27.9	↗
7 中野区	33.8	↗	7 北九州市	27.8	↘
8 江東区	32.3	↘	8 浜松市	27.4	↗
9 文京区	31.5	↘	9 大阪市	26.8	↗
10 千代田区	28.9	↘	10 横浜市	25.2	↗
11 墨田区	28.4	↘	11 相模原市	22.4	↗
12 目黒区	28.3	↘	12 仙台市	21.9	↘
13 大田区	27.7	↘	13 堺市	21.7	↘
14 練馬区	27.1	↘	14 福岡市	21.7	↘
15 品川区	27.0	↗	15 千葉市	17.1	↗
16 足立区	25.9	↘	16 静岡市	16.9	↗
17 北区	23.5	↗	17 京都市	12.1	↗
18 板橋区	22.8	↘	18 新潟市	3.5	↘
19 新宿区	22.6	↘			
20 杉並区	22.0	↘			
21 荒川区	20.6	↘			
22 豊島区	20.5	↘			
23 葛飾区	16.7	↘			

<調査概要>
実施:朝日新聞本社
時期:2019年3月

※江東区、中央区、江戸川区は転園を含み、江戸川区は私立の2次募集分も含む。目黒区は家庭福祉員内定者も含む。葛飾区は一部の転出予定者を除く
※さいたま市、京都市、堺市は転園を含む
神戸市は転園に加え、他市からの申し込みも含む。

※名古屋市、広島市は回答せず。大阪市、堺市、京都市、神戸市は転園を含めて回答。
※台東区は転園を含め、江戸川区は私立のみで回答。目黒区は家庭福祉員内定者を含む。中野区は3月4日時点。

<2020年>

東京23区		前年比較	政令20市		前年比較
1 港区	41.0	↘	1 岡山市	36.1	↗
2 台東区	39.5	↘	2 熊本市	32.9	↗
3 中央区	39.4	↘	3 浜松市	32.8	↗
4 品川区	38.6	↗	4 さいたま市	31.8	↘
5 世田谷区	36.4	↘	5 札幌市	31.3	↘
6 江戸川区	30.5	↘	6 川崎市	30.8	↘
7 墨田区	28.6	↗	7 神戸市	29.4	↘
8 中野区	27.3	↘	8 大阪市	29.0	↗
9 江東区	26.5	↘	9 横浜市	25.1	↘
10 新宿区	25.5	↗	10 千葉市	21.6	↗
11 渋谷区	25.2	↘	11 福岡市	20.1	↘
12 大田区	24.8	↘	12 相模原市	19.9	↘
13 文京区	24.4	↘	13 堺市	19.4	↘
14 杉並区	23.6	↗	14 仙台市	18.6	↘
15 練馬区	23.4	↘	15 静岡市	14.8	↘
16 目黒区	23.3	↘	16 京都市	11.9	↘
17 板橋区	23.2	↗	17 新潟市	5.9	↗
18 北区	22.1	↘			
19 豊島区	20.5	→			
20 足立区	20.3	↘			
21 荒川区	18.2	↘			
22 葛飾区	17.4	↗			
23 千代田区	14.4	↘			

<調査概要>
実施:朝日新聞本社
時期:2020年3月



※台東区、品川区、江戸川区は転園希望者を含めて回答。世田谷区は転園希望者、継続利用者を含めて回答。
※名古屋市は回答せず。広島市、北九州市は申込者数のみ回答。さいたま市、大阪市、堺市、神戸市は転園希望者を含めて回答。京都市は転園希望者などを含め、内定者数は2月14日現在の参考値。仙台市の内定者数は面接通知送付件数。

2. 希望の保育所に入所出来た人の保活とは ～マザーネットに寄せられた声より

	東京23区	関東(東京23区以外)・関西・その他
情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは制度(保育園が決まるルール)をきちんと理解することが大事だと思う。役所の窓口に行って、どのようなスケジュールで、どのような要件で入園が決まるのかを、妊娠中の早いうちから聞いておく対策や心づもりが出来て安心(品川区)。 ・生まれ月に応じた対応があるので、妊娠が分かったその月から情報収集を開始した方が良い(台東区)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に知り合いがいれば、情報収集することも役立つが、口コミは必ずしも正しいとは限らず、また家庭ごとに保育園に求めることは異なるため、自身で見学して園長先生や保育士の方々、園の様子を実感することが一番大事だと思う(横浜市)。 ・市役所だけでなく、支援センターや子ども園などにも顔を出して、色々なママから情報を仕入れることも大切。市役所に何度も顔を出して相談をしたが、担当者によりアドバイスに差があったり、一般的な意見しか聞けなかったりもするので(大阪府豊中市)。 ・市で同じ年頃の赤ちゃん・お母さんを対象にしている乳児教室に通っており、ご兄弟がいるお子さんのお母さんや教室の先生から、市内の保育園に関する情報を得ることが出来た(先生が増員される、野外活動が豊富で子どもたちが楽しそうなど)(広島県廿日市市)。
保育所見学	<ul style="list-style-type: none"> ・公立認可保育園の場合は、特徴や雰囲気などについて、区のHPで得られる情報があまりなく、保育園見学はしておいた方が良い(渋谷区)。 ・安定期を過ぎたら体調も安定しているだろうと思っていたら、後半に私は入院になったので、体調に問題がない時に近くの保育園を調べたり、見学したりしておいて良かったと思った(板橋区)。 ・希望を出す可能性のある保育園は一通り見学に行くと良い。30分程度の見学ではわからないことも多いが、子どもの様子や先生の子どもへの接し方、園の雰囲気などが少しはわかるので、優先順位をつけるのに役立つ(品川区)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園によって雰囲気や保育方針が異なる。人気の高い園が必ずしも良い園だとは思わなかったため、希望する園はすべて見学しに行くべき(千葉県船橋市)。 ・市役所へのヒアリング、保育園の見学とも夫と一緒にいったことで、申請する時の話し合いがスムーズだった。夫婦で着眼点も異なることも多いし、夫が当事者意識を持つためにも、できるだけご夫婦で行かれた方が良いと思う(埼玉県八潮市)。 ・赤ちゃんを預かってくれる人がおらず、小さい赤ちゃんを連れて見学に行ったが、見学どころではなかった。産前にほとんどの保育園を見学し終えておいた方が良いと感じた(神奈川県小田原市)。 ・昨年より保活が厳しくなっていることを念頭に置き、小規模園や認可外保育所を見ておくべき(兵庫県芦屋市)。 ・気になる保育園はすべて見学した方が良い。できれば産まれてからの方が子どもの生活をイメージしやすい。私は妊娠中(産休中)に近くの保育園をリストアップして、ウォーキングがてら場所を確認しておいたので、見学予約する優先順位を決めたり、所要時間など事前にイメージできて良かった(大阪府豊中市)。
申請に関して		<ul style="list-style-type: none"> ・就労証明書の取り寄せの際に、復職日変更の事務作業がとても面倒だったり、証明書に記載誤り等があり、何度も書面のやり取りをしたため、締切に間に合うか焦ったので、早い段階で取り寄せておくべき(千葉県船橋市)。
認可外の申し込み	<ul style="list-style-type: none"> ・入園申込が先着順であったり、見学しないと入園申込できないところもあるので、施設見学や説明会は認可ではなく、認可外から優先的に行うと効率的で良い(江東区)。 ・出産前から自宅付近の認証保育園をいくつか見学して、申し込める園は申し込みをしておいたのが、後々の安心にもつながり(認証保育園の方が認可園より合格発表が早かった)良かった(板橋区)。 ・認証園や認可外園は説明会に来た順で入園許可を出す園も複数あったので、早め早めに行動することで預け先を確保できる可能性が高いように思う。私が住んでいるエリアでは、説明会の申込が3～4月、説明会が4～5月の園が多かった(板橋区)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認可外保育所は生まれる前からの予約が肝心。それでも年度途中は空きが出にくく、希望通りの時期に入所が出来るとは限らない(兵庫県宝塚市)。
2人目の保活		<ul style="list-style-type: none"> ・2人目なので大丈夫だと思ってあまり保活をしていなかったが、市から募集要項が出た時に調整指数の変更があり影響を受けたため、焦って保活をすることになった。2人目での準備はしておくべき(東京都小平市)。
心持ち	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の見学には夫と一緒に行くなど、保活も一緒に出来たのが良かった。そのおかげで保活が終わった時も夫婦でその喜びを共有できたように思う(板橋区)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保活は想像していたよりも過酷で大変だった。何とかなるだろうという受け身ではなく、早め早めに自分から情報を取りに行くという気持ちも必要(大阪府豊中市)。